
柳井十兵衛騒動記

ダン・チズマー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

柳井十兵衛騒動記

【Nコード】

N5671B

【作者名】

ダン・チズマー

【あらすじ】

柳井流八代目師範・柳井十兵衛が跡継ぎの名付を巡って大騒動。果たしてどんな名前に？> 時代小説ではありません。ただのバカ小説ですので勘違いして読まないでくださいね <

カコン

全ての時間が止まってしまいそんな庭園に鹿おどしが刻を運ぶ。

そしてその静寂の世界を見下ろすように、莊厳かつどこか氣品を湛え屋敷は聳えていた。

見るものを圧倒する巨大な門扉と脇に掲げてある柳井流武術道場「の恭しい看板もまた、いかにも近寄りがたい雰囲気醸している。

いつだか盗つ人が迷って出られなくなってしまったという逸話がまことしやかに囁かれるほどの広大な敷地は、江戸時代から代々継がれてきたものだ。

2

その頃、居間では柳井流八代目師範・柳井十兵衛と息子である柳井十蔵が神妙な面持ちで向き合っていた。

「父上。本日無事私の息子が生まれました。つきましては父上に名付親になっていただきたく、こうして参りました。」

「うむ。その子もいずれはこの柳井流を継ぐ存在。柳井流の恥じぬような立派な名前をつけてしんぜようぞ。」

「ありがとうございます。」

十蔵は深々と頭を下げた。

元々十蔵の名も祖父にあたる十乃助が命名したものだ。

柳井家ではその時の師範が生まれてきた子の名付け親になるのが慣わしであるのだが、一応の儀式としてこうしたやりとりは必要なのだ。

「む……………」

十兵衛は目を閉じちいさく唸った。

「…………では、心の準備はよいか？」

「お願いします。」

十蔵は汗で湿った手のひらを握り締めた。

十兵衛は、げほとひとつ咳払いをし、十蔵の目を見据えた。

「うむ。大翔、大輝、もしくは蓮というのはどうじゃ？」

「……………って、モロ最近の流行の名前丸パクリじゃねーか！
！」

「ダメかの？」

「もつとなんかこーふさわしい名前あんだろ？」

「では玖里主くじすはどうかの？ あ、耶琥武やいぶなんてのはどうじゃ？」

「もっとアカンわ！！てゆーか代々『十』がついた名前なんだから
ご多分に漏らすな！！」

「いいか、十蔵。こういう話がある。

あるところに猫だけの村があり、ニヤツ太とニヤー子もそこに住ん

でいった。

『こんにちは、ニャー子ちゃん。』

『あら、ニャッ太くんこんにちは』

そこへ同じ学校に通う優等生のニャン吉くんがやってきた。

『やあ、ニャッ太くんにニャー子ちゃん。』

さらにガキ大将のニャン助もやってきた。

そしてニャー子の親友ミャー子もやってきた。

なんとニャッ太のお父さんのニャン蔵と近所に住むニャン丸さん、郵便配達のニャ・・・

どうだ？もうこのアニメは崩壊の危機じゃ。バリエーションなんてすぐ尽きちまうんじゃないよ。」

「わかりづれえよ！」

「そんなに言うなら、今流行りのネットで公募でもしたらどうじゃ？」

「そんなことしたら、どーせ『チンコ』とか『ウンコ』とかろくな名前こねーよ！！！」

「チンコ・・・という漢字じゃ？」

「どーでもいいよ！！！」

「^{チンコ}朕香？」

「どーでもいいっていつてんだろ！！！」

「ううむ。しかしよく考えてみれば、今こーやって焦って名前を付ける必要もないのではないか？」

「は？と言いますと？」

「うむ。小説なんかも全て出来上がってから、その話に合った題名をつけることはよくある事じゃろ？」

ということとは死ぬ間にその人の人生に合った名前を付けるというのはどうじゃ？」

「ものすごい画期的な案か、若しくはとてつもないバカか!!」

「いかにも面白そうなタイトルだけつけてたった6行でほっぽりだすとか、よくありがちじゃしのお（笑）」

「悪いか!!オレは形から入るタイプなんだよ!!」

「というわけで二代目十蔵に決定した。」

「いきなりか!!ってゆーかオレはどーすんだよ!!」

「^{アマンダ}亜満驛でいいじゃろ」

「ふざけんな!!しかもアマンダって女の人の名前だよ!!
ってかもういいです。帰らせてもらいます。」

「^{亜満驛}……」

十兵衛の差し出した手は空しく宙を掴んだ。

カコン

遠くで鹿おどしが響いた。

カコン

静寂がまた辺り一面を包んでゆく。
何事も無かったかのように、ただ肅々と・・・。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5671b/>

柳井十兵衛騒動記

2010年10月11日13時14分発行